

2023年度

事業計画
収支予算書

一般社団法人 小平市国際交流協会

2023年度事業計画

○基本方針

一般社団法人 小平市国際交流協会は、定款に示すように、「市民主体の国際交流並びに在住外国人への支援を推進することにより、国際相互理解と地域の多文化共生を図り、日本人・外国人が互いに連携し、生活上の様々な課題の解決を進められる住みよい地域に寄与する」ことを目的とし、その実現に向けた事業を展開しています。

多文化共生については、外国人住民を一時的な滞在者ではなく地域の生活者にとらえ、その多様なニーズに応えることを念頭に、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていける多文化共生の地域づくりを目指してまいります。

国際交流、国際理解事業についても、この多文化共生の理念に基づき、単なる友好親善にとどまらない関係を築くことに努め、ボランティア会員による自発的かつ主体的な活動をもとに、日本人・外国人が互いに協力して取り組める事業としてまいります。

○外国人をめぐる国、小平市の動向

(1) 国の動向

技能実習生に対する人権問題や国内景気の低迷に伴う円高で、外国人労働者を送出する国の賃金が高くなり、近隣国との労働者獲得競争から、日本での就労を希望しない外国人が増加との報道があります。これを受け、令和4年から国が外国人技能実習制度等について本格的に見直しを開始しました。

また、令和元年「日本語教育の推進に関する法律」が施行され、この法律に基づき文化庁では、「地域における日本語教育の在り方について」を取りまとめています。この指針は、自治体が日本語教育を行う際の指針となるもので、地域の日本語教育は、今まで考えられていた必要最低限の時間数で学ぶことから、継続的に学習していける環境整備が必要

と提言されています。

(2) 小平市の動向

令和5年度から令和14年度を計画期間とする「小平市文化スポーツ推進計画」が策定中です。素案には、多文化共生については、文化芸術を通じた協働・連携・交流の促進の施策の一つとして「多様性への理解と多文化共生社会づくり」として盛り込まれました。

国際交流協会との関係では、具体的な取り組みに「国際交流協会との連携事業」として多様な交流を促進するとともに、外国人住民も地域のコミュニティに関わることで、相互理解を深め、共生社会の実現につながる取組について、調査研究するとされています。

○目指すべき活動方針

- 1 地域社会への外国人住民の積極的な参加を促し多様な担い手を確保します。
- 2 市及び関係機関や大学等と連携しながら市民レベルの主体的な活動を進めていきます。
- 3 事業の進め方は、外国人の興味あるテーマを設定することや連携して企画や事業を実施することを通して顔見知りの関係の構築を目指します。

○主要施策

(1) 日本語会話教室

令和4年度は、ウィズコロナの社会認識の浸透もあり、受講控えがなくなり、教室に学習者が戻ってきました。その一方で、社会活動が再開され、就労につく学習者が増えたため日本語会話教室の生徒数は、変わらない一年でした。外国人の日本語学習者のニーズを捉えたものとして令和3年度から JLPT 直前対策講座、令和4年度から日本語初心者会話教室（木曜日）を新しく開始し、一定の成果がありました。

一方日本語学習の課題として、学び始めても直ぐ来なくなる学習者が多いことがあげ

られます。豊島区の調査によると、理由として仕事のため時間的余裕がなくなるため、更に外国人学習者のニーズに合ったメニューや学習環境の整備を検討する必要があります。

また、令和5年度は、日本語会話教室終了後の「お茶の時間」の復活を行い、学習者間の交流や居場所の確保を検討してまいります。

(2) KIFA のつどいの開催

令和4年度から KIFA のつどい (KIFA Friendship day) を開催し、外国人住民と KIFA ボランティアがイベントを通して顔見知りの関係を目指し、KIFA の取組を理解することを目的として開催しました。令和5年度も同様な企画で、準備開始時期を早くしてまいります。この事業では、各ボランティアグループ間の連携を図ること及び外国人会員が企画段階からイベントへの参加することを目指してまいります。

(3) 外国籍市民へのコミュニケーション環境の充実

① 翻訳・通訳事業の拡充

令和4年度は、今まで対応していた市役所や小中学校・保育園の諸手続きに加えて、病院から退院する場合や子ども家庭支援センター等からの依頼も公的な機関からの依頼と同じ扱いに変更しました。また、報酬についても内容に応じて加算します。

翻訳についても、行政からの情報等で多言語に発信する必要な情報については、協会の判断で翻訳してまいります。

② KIFA の事業への周知

KIFA の事業に、より多くの市民が参加するように働きかけるとともに、様々な機会を捉え市民や外国人住民への当協会の周知を図ってまいります。周知する手法も外国人住民にわかりやすい多言語の表示やメール、SNS 等の媒体について研究してまいります。

○各事業計画

I 多文化共生に関する事業

事業名・担当	事業内容
<p>(1)日本語会話教室</p> <p>①日本語会話教室(おとな) 担当(日本語会話教室グループ)</p> <p>②日本語会話教室(保育) 担当(保育グループ)</p> <p>③つなひろこだいらクラス(初心者～中級 話すクラス) 担当(日本語会話教室グループ)</p> <p>④JLPT 直前対策講座 (春・秋開催) 担当(日本語会話教室グループ)</p>	<p>外国人が地域で暮らすために必要な日本語を学ぶ、レベル別のグループレッスンです。指導者は日本語教師の資格をもった KIFA ボランティアです。</p> <p>① 受講料 5回 1,500円または1回 350円(チケット制) ② 開講日 月曜日(午前)・金曜日(夜間)・土曜日(午前)</p> <p>月曜日と土曜日は、授業の間はボランティアが登録したこども(6ヶ月～8才)を預かります(保育)。</p> <p>文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」を使った教室です。今年度から、長い会話を練習する日を設けました。 金曜日 午前 10:30～12:00</p> <p>日本語学習者の日本語能力試験(JLPT)受験を支援するため、N2～N4の直前対策講座を開講します。春と秋 土曜日各5～6回シリーズで開講します。</p>
<p>(2)こども日本語・学習支援 担当(こども日本語・学習支援グループ)</p> <p>② <外国出身親子向け> 小学校入学準備教室 担当(こども日本語・学習支援グループ)</p>	<p>外国につながるこどもたちに KIFA のボランティアが日本語と学校の勉強のサポートをします。 ひとりひとりのニーズによって 個別に対応します。 毎週水曜日 午後 4:10～5:40</p> <p>小学校に入学する親子のための教室を開講します。外国出身の親子のための教室です。ひらがなの練習や あいさつなどを勉強します。</p> <p>① 開催予定日 2月毎週土曜日 午後 ② 無料</p>
<p>(3)小平市日本語発表会 担当(小平市・事務局) 協力 市内の日本語支援ボランティア団体及び小平市国際交流協会日本語教室</p>	<p>市内のボランティア活動による日本語教室の学習成果を発表する場を設定し、次のことを目的にします。 日本語学習者は日頃の学習の成果を発表することで、学習意欲の向上を図り、指導者は、日頃の指導の成果を確認することで、指導の改善に役立て、聴講者は、スピーチを聴講することで、多文化共生を理解します。</p> <p>① 開催日 12月10日(日) ② 開場 中央公民館</p>

<p>(4) 翻訳・通訳事業 担当(翻訳・通訳チーム)</p>	<p>市役所や小中学校等の諸手続きなどに関し、ボランティアによる通訳・翻訳サービスを実施します。 定期的な活動として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 年に数回の定例会を開催し、翻訳・通訳を必要とする事業への支援を行います。 ② 他事業グループが主催する事業の広報チラシなどの翻訳協力・通訳協力します。 ③ 行政機関からの通訳依頼への派遣します ④ 行政機関からの文書翻訳依頼への対応します ⑤ 「やさしい日本語」担当をサブグループに位置付け、勉強会と文書のリライト発行を推進します。
<p>(5) 生活情報提供 担当(生活情報提供チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者向けの入学準備相談会 ② 多文化カフェ 	<ol style="list-style-type: none"> ① 外国人の抱える課題を探り、必要としている生活情報の提供を行うことにより、外国人の日常生活の利便性を図るため、テーマ別の説明会あるいは個別相談形式による事業を実施します。(2月予定) ② ニーズの収集および在住外国人の居場所として、ボランティアと在住外国人の懇談の場を提供します。(6回開催予定)
<p>(6) 災害時外国人支援センター運営 担当(災害時対応チーム)</p>	<p>災害時外国人支援センターのボランティア募集、運営訓練及び外国人への啓発を目的とした活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小平市災害時外国人支援センター運営の検討 ② 外国人が参加しやすい防災訓練の検討 ③ 災害時翻訳シミュレーション(ロールプレイ)訓練の参加

II 国際交流に関する事業

<p>(1) KIFA のつどい (2023 KIFA のつどい KIFA Friendship Day 2023)</p>	<p>外国人と KIFA ボランティアが事業を通して顔見知りの関係となるよう、KIFA の取り組みや日頃の成果を紹介することにより、市内在住の外国人に頼られる協会になることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日 時 11月26日(日) ② 内 容 KIFA ボランティアグループが企画したアトラクションなど
<p>(2) ホームビジット 担当(事務局) ホスト KIFA の会員</p>	<p>外国人に日本の家庭を訪問する機会を提供し、市民レベルの国際交流を推進します。参加希望の外国人(ゲスト)毎に、普通会员よりホストを募集して、訪問家庭を決定します。受け入れ家庭がゲストの希望をヒアリングして、半日程度の家庭訪問を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 時 期 通年 ② 場 所 各家庭

<p>(3) スポーツ交流の促進 担当(事務局・交流イベントグループ)</p>	<p>市内で実施されているスポーツイベントに外国人参加を図り、スポーツを通じた交流を促進します。 ・市民駅伝大会 (2月) ミニレターでチームメンバーの募集を行い、参加します。</p>
<p>(4) 交流イベント 担当(交流イベントグループ)</p>	<p>時宜に応じた交流機会を設定し、相互理解を深めます。 (過去の事例) 高尾山ハイキング、灯りまつり、グリーンロードウォーク、花見</p>

Ⅲ 国際理解に関する事業

<p>(1)国際こどもクラブ 担当(国際理解講座グループ)</p>	<p>留学生等の講師による多文化理解講座と、外国人英語講師による英会話レッスンです 期 間 6月～7月(土曜日の午後実施) 回 数 5回 対 象 小学校2～4年生 参加費 5,000円 定 数 1クラス15人</p>
<p>(2)英会話教室 担当(事務局)</p>	<p>ネイティブの講師により、英会話力の向上を図ります。語学力に磨きをかけることによって、協会プログラムやボランティア活動への参加を図ります。 初級、初中級、中級、中上級のレベル別クラスを設置します。</p>
<p>(3)外国語会話教室 担当(事務局) ① スペイン語(初中級) ② フランス語(初級)</p>	<p>国際理解や国際親善を始めるための一歩としての外国語会話教室を行います。 2019年度 中国語(入門) 2020年度 イタリア語(入門)・中国語(入門) 2021年度 たのしいスペイン語(初級) 2022年度 たのしいスペイン語(初級)・(初中級) 2023年度 フランス語(初級)・スペイン語(初中級) 定員 15名</p>
<p>(4)多文化理解講座 in English 担当(国際理解講座グループ)</p>	<p>各国からの留学生等に自分の国を英語で紹介してもらいます。ネイティブだけでなく、いろいろな国の英語に親しむことができます。</p>
<p>(5)世界の料理紹介 担当(世界の料理紹介グループ)</p>	<p>いろいろな国の料理を皆で一緒に作って食べます。令和4年度は、世界の料理紹介グループメンバーが講師となり、外国人と一緒にゆでまんじゅう・ちらし寿司を作りました。今年度は、日本語会話教室の学習者など外国の人に講師を依頼します。</p>

IV 情報収集、調査研究及び広報

<p>(1) 機関紙発行 担当(機関紙グループ)</p>	<p>協会で行った事業を取材したり、外国人インタビューや特集記事を企画して、記事を執筆、校正、レイアウトの編集をして、機関紙を発行します。 A4判、カラー刷り(4月、9月、1月)、印刷は外注 回数 年3回 部数 1,800部</p>
<p>(2) 情報紙(ミニレター)の発行 担当(事務局)</p>	<p>協会で行う行事などを中心に編集し、情報紙を自前で作成・発行する。A4版で会員に郵送します。 回数 年10回(8月、2月は休刊) 部数 1,800部</p>
<p>(3) 電子情報の発信 担当(事務局)</p>	<p>ホームページによる情報発信 Facebookによる情報発信</p>

※注【説明】ボランティアグループについて

普通会員としてボランティア活動をする人は、必ず1つ以上のボランティアグループに所属をします。ボランティアグループは、全部で12あります。KIFAのボランティア活動は、市民が主役の自主的かつ能動的な活動です。

	ボランティアグループ	活動内容	活動日	条件等
多文化共生に関する事業	1 日本語会話教室 指導 月曜日	日本語会話教室でのレベル別グループ指導	月曜日 10:00~11:30	要資格 ・日本語教師養成講座420時間修了 ・日本語教育能力検定試験合格 ・大学で日本語教授法修了
	2 日本語会話教室 指導 金曜日		金曜日 19:00~20:30	
	3 日本語会話教室 指導 土曜日		土曜日 10:00~11:30	
	4 日本語会話教室 保育	日本語会話教室の受講生のこどもを、別室で預かる	月曜日・土曜日 10:00~11:30	要見学
	5 こども日本語・学習支援教室	外国ルーツの子どもたちへの日本語指導と学習支援	水曜日 15:30~18:00	要見学
	6 翻訳通訳チーム	公的文書の翻訳や公的機関への通訳派遣など	随時 会議は土曜日	
	7 生活情報提供チーム	外国人に役立つ情報の発信。複雑な日本の制度に関する説明会の実施など	イベントは土日 会議は土曜日	
	8 災害時対応チーム	大規模災害時の外国人支援の枠組み作り	イベントは土日 会議は土曜日	
国際交流に関する事業	9 交流イベント	交流イベントの企画・実施	イベントは土日 会議は土曜日	
国際理解に関する事業	10 国際理解講座	国際理解講座の企画・実施 ・国際こどもクラブ ・多文化理解講座 in English	講座は5~7月と10月の土曜日 会議は随時	
	11 世界の料理	世界の料理講座の企画・実施	会議は、随時	
事業情報発信	12 機関紙発行	機関紙「国際こいだいら」の企画・取材・執筆・校正	取材は随時 会議は水曜日 10:00~12:00	要見学

- ★各ボランティアグループには、幹事（1名）と副幹事（1名）がいます。任期は一年です。
- ★幹事と副幹事は、年数回の「KIFA 連絡会」に出席し、グループ同士の情報交換を行います。
- ★幹事は一般社団法人の「社員」となり、年1回の社員総会に出席します。社員総会は、KIFAの決議機関です。

収支予算書

2023年04月01日から 2024年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 普通会員				
個人会員	300,000	360,000	▲60,000	
団体会員	50,000	100,000	▲50,000	
普通会員計	350,000	460,000	▲110,000	
(2) 賛助会費収入				
個人賛助会員	500,000	381,000	119,000	
グループ賛助会員	4,000	4,000	0	
団体賛助会員	40,000	70,000	▲30,000	
法人賛助会員	210,000	100,000	110,000	
賛助会費収入計	754,000	555,000	199,000	
(3) 学生会員				
学生会員	12,000	5,000	7,000	
学生会員計	12,000	5,000	7,000	
(4) 補助金収入				
小平市補助金	13,942,000	14,226,000	▲284,000	
その他補助金	1,000	1,000	0	
補助金収入計	13,943,000	14,227,000	▲284,000	
(5) 寄付金収入				
寄付金収入	20,000	5,505,555	▲5,485,555	
寄付金収入計	20,000	5,505,555	▲5,485,555	
(6) 事業収入				
日本語会話教室	450,000	450,000	0	
こども日本語・学習教室	40,000	40,000	0	
'KIFAのつどい	10,000	10,000	0	
英会話教室	4,995,000	4,995,000	0	
外国語会話教室	800,000	865,000	▲65,000	
国際こどもクラブ	60,000	60,000	0	
大人のための多文化理解講座	20,000	90,000	▲70,000	
その他事業収入	100,000	40,000	60,000	
事業収入計	6,475,000	6,550,000	▲75,000	
(7) 雑収入				
雑収入	1,000	1,000	0	
雑収入計	1,000	1,000	0	
事業活動収入計	21,555,000	27,303,555	▲5,748,555	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
多文化共生に関する事業費支出				
日本語会話教室	1,560,000	1,594,000	▲34,000	
こども日本語・学習支援	716,000	715,000	1,000	
日本語発表会	77,000	39,000	38,000	
翻訳・通訳事業	164,000	100,000	64,000	
生活情報提供	105,000	94,000	11,000	
災害時対応チーム	60,000	80,000	▲20,000	
多文化共生に関する事業費支出計	2,682,000	2,622,000	60,000	
国際交流に関する事業費支出				
'KIFAのつどい	200,000	152,000	48,000	
ホームビジット	25,000	0	25,000	
スポーツ交流の促進	22,000	22,000	0	
交流イベント	48,000	8,000	40,000	
国際交流に関する事業費支出計	295,000	182,000	113,000	
国際理解に関する事業費支出				
国際こどもクラブ	94,000	84,000	10,000	
英会話教室	3,574,000	3,500,000	74,000	
外国語会話教室	700,000	757,000	▲57,000	

収支予算書

2023年04月01日から 2024年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
大人のための多文化理解講座	22,000	82,000	▲60,000	
世界の料理紹介	34,000	57,000	▲23,000	
国際理解に関する事業費支出計	4,424,000	4,480,000	▲56,000	
情報収集、調査研究及び広報				
機関紙発行	334,000	369,000	▲35,000	
情報紙発行	697,000	679,000	18,000	
電子情報の発信	330,000	387,000	▲57,000	
情報収集、調査研究及び広報計	1,361,000	1,435,000	▲74,000	
その他法人の目的事業支出				
連携事業	63,000	63,000	0	
ボランティア活動の推進	94,000	92,000	2,000	
その他	0	555	▲555	
その他法人の目的事業支出計	157,000	155,555	1,445	
事業費支出計	8,919,000	8,874,555	44,445	
(2) 管理費支出				
管理運営費支出				
給与手当支出	10,526,000	10,526,000	0	
福利厚生費支出	1,713,000	1,713,000	0	
賃金支出	50,000	50,000	0	
会議費支出	17,000	0	17,000	
旅費交通費支出	32,000	32,000	0	
印刷製本費支出	59,000	38,000	21,000	
通信運搬費支出	261,000	261,000	0	
消耗品支出	123,000	423,000	▲300,000	
消耗什器備品支出	100,000	180,000	▲80,000	
賃借料支出	1,551,000	1,354,000	197,000	
委託料支出	343,000	343,000	0	
交際費支出	13,000	13,000	0	
修繕費支出	120,000	230,000	▲110,000	
負担金支出	10,000	10,000	0	
租税公課支出	97,000	0	97,000	
雑支出	120,000	96,000	24,000	
報酬支出	60,000	60,000	0	
管理運営費支出計	15,195,000	15,329,000	▲134,000	
管理費支出計	15,195,000	15,329,000	▲134,000	
(3) 積立金				
事業積立金				
事業積立金支出	1,000	4,200,000	▲4,199,000	
事業積立金計	1,000	4,200,000	▲4,199,000	
積立金計	1,000	4,200,000	▲4,199,000	
事業活動支出計	24,115,000	28,403,555	▲4,288,555	
事業活動収支差額	▲2,560,000	▲1,100,000	▲1,460,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
事業積立金取崩収入	1,200,000	1,200,000	0	
特定資産取崩収入計	1,200,000	1,200,000	0	
投資活動収入計	1,200,000	1,200,000	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	1,200,000	1,200,000	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	

収支予算書

2023年04月01日から 2024年03月31日まで

(単位:円)

科	目	予算額	前年度予算額	増減	備考
	財務活動収支差額	0	0	0	
IV	予備費支出	100,000	100,000	0	
	当期収支差額	▲1,460,000	0	▲1,460,000	
	前期繰越収支差額	1,460,000	0	1,460,000	
	次期繰越収支差額	0	0	0	